

















































## H29年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名  
決算書  
199p

大事業名	款	項	目
	災害復旧費	文教施設災害復旧費	公立学校施設災害復旧費

総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	関連指標	[総合計画(目標年度H32)]	
	基本施策	子どもの確かな力を育む教育の充実		[総合戦略(目標年度H31)]	
	施策	学校教育の充実		[その他]	
総合戦略					
個別計画					

## 1.概要

事業内容	災害復旧工事
対象	被災建物(光風台小学校)
意図・目的	学校施設の復旧により学校運営の円滑化を図る

## 2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費(千円)		
		H28決算	H29決算	うち特定財源
1 公立学校施設災害復旧事業	光風台小学校受水槽建屋及び周辺設備の復旧工事	0	3,348	3,348

## 3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

受水槽建屋屋根、ブルーシャワー、日よけ支柱等の復旧（台風21号による被災）

## 4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進歩管理 無		
	事業内容 無		
	費用対効果 無		
中長期的な課題	進歩管理 無		
	事業内容 無		
	費用対効果 無		

## 5.総合評価

A	A : 各小事業について計画どおりに進めることができた B : 小事業について、事業の進め方に改善が必要 C : 小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D : 大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	--

## 6.改善の方向性

--

## H29年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名  
決算書  
119p

大事業名	子育て支援センター運営事業	款	項	目
総合計画	政策 基本施策 施策	民生費	児童福祉費	児童福祉施設費
総合戦略	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり 安心して働く子育て支援の充実 子育て支援サービスの充実		[総合戦略(目標年度H31)] 地域子育て支援拠点 3か所 安心して子どもを産み育てやすいまちだと思う割合 70%	
個別計画	基本目標2 「住みたくなる」子育て環境をつくる (2) 豊能での子育てをかなえるためのサポートの充実 豊能町子ども・子育て支援事業計画		[その他]	

### 1.概要

事業内容	子育てに役立つ情報提供を行い、家庭における子育ての支援を行う。また、拠点事業を発展させ、母子保健事業と連携し、アウトリーチ型の早期家庭訪問を行う。
対象	地域住民・子育て家庭
意図・目的	育児不安の解消・育児負担の軽減・乳幼児期の親子の愛着形成の構築

### 2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		H28決算	H29決算	うち特定財源
1 子育て支援センター運営事業	・施設開放・育児相談・電話相談・子育てサークル支援 ・間連機関との連携・一時預かり事業 ・育児不安の改善と、子育て環境の充実・年齢、発達に応じたあそびの提供や交流	559	741	232
2 ファミリーサポートセンター運営事業	・ファミリーサポート事業の運営 ・登録会員の研修実施	108	107	0
3 家庭訪問型早期子育て支援事業	・母子保健事業と連携し妊娠期から誕生・4か月までを対象に家庭訪問によるパーソナルな子育て支援を実施。 ・すくすく訪問後の集いとして親子の絆づくりプログラムとして「すくすく訪問OB会」を実施。	799	779	779
4 地域子育て支援拠点の環境改善事業	児童養護施設等の生活向上のための環境改善事業に基づく地域子育て支援拠点の環境改善事業 安全で安心した魅力ある子育て支援拠点の創設及び整備	0	899	674

### 3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

- ・育児に必要な情報をタイムリーに提供し母子に寄り添う支援をすることで、安心して子育てができるようになり、不安や悩みが軽減し、子どもとの愛着形成の促進となった。  
(すくすく訪問（生後4カ月まで）：対象53家庭・ハイハイ訪問（1歳6か月まで）：対象46家庭)
- ・早期から母子保健と連携し関わることで、孤立感を軽減することができ、家庭訪問終了後も乳幼児相談や施設開放などの拠点事業の利用が促進された。（施設開放利用延べ人数：1285人）
- ・老朽化した備品を買い替えることにより、子どもを安心して育てる環境整備の充実やインターホーンを設置することで、セキュリティ強化となり、利用者の促進を図ることができた。

### 4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進歩管理 無	・地域の子育ち、親育ちのワンス トップ型の整備及び実施（子育て世代包括支援センター）	・関係機関との連携及び体制の整備 ・児童減少による対象家庭の減少
	事業内容 有	・ファミリーサポートセンターの会員の利用促進	
	費用対効果 無		
中長期的な課題	進歩管理 無	・地域の子育ち、親育ちのワンス トップ型の整備。	・関係機関との連携及び体制の整備
	事業内容 有	・家庭支援を必要とする場合、具体的な支援の委託。	
	費用対効果 無		

### 5.総合評価

B	A : 各小事業について計画どおりに進めることが必要 B : 小事業について、事業の進め方に改善が必要 C : 小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D : 大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

### 6.改善の方向性

- ・子育て世代包括支援センターを平成30年度秋設置に向け、準備委員会を設置し体制を整える。
- ・ファミリーサポートセンターの利用促進の為、積極的に広報・周知に努める。

## H29年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名  
決算書  
教育支援課  
167p

大事業名	学校教育充実事業	款 項	目
	教育費	教育総務費	事務局費

総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	関連指標	[総合計画(目標年度H32)]
	基本施策	子どもの確かな力を育む教育の充実		学校教育が充実していると思う割合 70.0%
	施策	学校教育の充実		[総合戦略(目標年度H31)]
	総合戦略	基本目標2 「住みたくなる」子育て環境をつくる (1) 豊能ならではの教育の付加価値の創造		学校教育が充実していると思う住民の割合 70.0%
	個別計画	豊能町子ども子育て支援事業計画		[その他]

## 1.概要

事業内容	学習指導要領のめざす「生きる力」を育成する指導方法の研究及び特色ある学校づくりの推進
対象	児童・生徒、教職員
意図・目的	学習指導要領の適切な実施のための指導力向上および特色ある教育の推進

## 2.構成事務事業

事業名	事業概要	事業費(千円)		
		H28決算	H29決算	うち特定財源
1 学校教育充実事業	・学校教育の充実を図るため、新学習指導要領のめざす「生きる力」を育成する指導法の研究や特色ある学校づくりを推進する。	522	391	0
2 教職員研修充実事業	人事権移譲に伴い、府で実施していた研修の多くのを豊能地区と町独自で実施する。大阪府実施で豊能地区に開講されない講座を精選し、町独自では50講座強の研修を実施する。府への研修参加は、実績を踏まえ1人1回2000円の負担金の予算措置が必要である。今年度は着手教員指導員、課題研究指定校研究支援等、校内研修支援を充実させる。	687	494	0
3 子どもの読書活動推進事業	大阪府の子育て支援リーディング事業の補助金を活用して、平成24年～26年度の3年計画で取り組んだ読書活動を継続して推進する。平成25年度から育成している「本のソムリエ」プロジェクトに加え、特に保護者、地域を巻き込んだ啓発のためのイベントや講演会を実施する。	327	2,358	2,358
4 学力向上事業	学力向上の推進を行う。また、公民館を活用し「中学生まなび舎教室」を開き、主体的に学ぶ生徒の支援を行う。さらには、授業力向上、授業改善、小中一貫を推進するための研究を行う。	716	2,608	0
5 エネルギー教育支援事業	小中学校のエネルギーに関する備品購入および小学校4校の科学実験教室を4年～6年対象に行う。	897	740	740
6 道徳教育推進指定事業	大阪府の道徳教育推進事業の推進指定校として本町の東能勢小学校において、「特別の教科 道徳」に向けた研究および指導力向上のための取組を進め、道徳教育の充実と推進を図る。	359	300	300
7 研究開発学校指定事業	文部科学省の教育研究開発事業の運営を手がけて、委託を受け、研究開発校として記述を要する児童の教育課程の構成、実施及び指導方法について研究を行う。	903	889	889

## 3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

- 町教科教育研究会を定期で6回、全体会を3回、定期外会9部会を開催し、授業改善や指導方法の工夫の研究、大小連携、小中連携の機会を提供できた。
- 夏季教職員研修：児童生徒理解、授業力向上、道徳、外国語、学校組織運営、保幼小連携等の主題で8講座開催し、町外からも合計63名の参加者があった。町教職員研修指導員派遣事業で2校に指導員を派遣し、講師を含む経験の浅い教員の支援を行った。
- 本のソムリエ認定講習会では18人の小中学生が参加した。「とよのまつり」には14人の本のソムリエが出演した。各学校では学級活動や図書館行事等でソムリエたちの活躍の場を設けた。
- 中学校「放課後まなび舎」は、東地区48回(626名)、西地区52回( 1025名)実施。合わせて参加延べ人数

## 4.課題整理

課題の有無		課題の内容	要因の特定
現状の課題	進捗管理	・教員の指導力・授業力向上 ・家庭との連携シートの作成	・学校の小規模化(単学級化) ・教員の世代交代 ・児童生徒の多様な課題
	事業内容	・教育環境(ICT機器等)の整備 ・カリキュラムマネジメント	
	費用対効果	無	
中長期的な課題	進捗管理	・児童生徒の学習に対する意欲・関心の向上 ・就学前教育も巻き込んだ保・幼・小・中一貫教育の推進	・児童生徒の多様な課題 ・学校の適正規模の再配置構想
	事業内容	有	
	費用対効果	無	

## 5.総合評価

B	A : 各小事業について計画どおりに進めることが必要 B : 小事業について、事業の進め方に改善が必要 C : 小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D : 大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

## 6.改善の方向性

- 豊能町学力向上プラン（授業力向上・全校的、組織的な学力向上の推進・ICTの活用研究・学習習慣・規律の育成）の実施。  
特に「ことばの力の育成」、「家庭との連携をより深める手立て」について取組を推進する。
- 保幼小中一貫教育推進（担当者会、全体研修会、各種校园の連携）。9年間のカリキュラム作成を行う。
- 「放課後まなび舎」の内容の充実（学習アドバイザーの増員および方法の工夫）。学びの質の向上を目指す。
- 今日的な課題に即した教職員研修の充実。特に、子どもの見方・考え方をしっかりと持った教員養成を目指す。

## H29年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名  
決算書  
167p

大事業名	学校運営事業	款	項	目
		教育費	教育総務費	事務局費

総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	関連指標	[総合計画(目標年度H32)]
	基本施策	子どもの確かな力を育む教育の充実		[総合戦略(目標年度H31)]
	施策	学校教育の充実		[その他]
総合戦略		基本目標2 「住みたくなる」子育て環境をつくる (1) 豊能ならではの教育の付加価値の創造		
個別計画		豊能町子ども子育て支援事業計画		

### 1.概要

事業内容	保護者地域の信頼に応え、家庭・地域と連携して教育活動を展開するための学校運営を円滑に進める
対象	学校（管理職・教職員）、地域、保護者
意図・目的	学校等協議会の適切な実施及び管理職のための研修実施

### 2.構成事務事業

事業名	事業概要	事業費（千円）		
		H28決算	H29決算	うち特定財源
1 学校運営事業	学校は、保護者や地域の信頼に応え、家庭・地域と連携して教育活動を展開する。 学校協議会等により、学校教育自己診断の作成・分析について意見を聞くことができ、学校関係者の意見を聞く場が設定できている。	258	251	0

### 3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

学校園所協議会：計画的に年間3回以上開催。行事や取組の参観や保護者等への自己診断結果をもとに学校運営について協議できた。自己診断の結果に対する意見を各協議会で集約し、学校だよりやHPで公開。学校運営の総括に活かすことができた。

### 4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
現状の課題	進歩管理	無	スクールリーダー・ミドルリーダー（学校管理職等）の不足	教職員の世代交代
	事業内容	有		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進歩管理	無	学校等協議会委員に適する人材の確保	地域住民の高齢化
	事業内容	有		
	費用対効果	無		

### 5.総合評価

B	A : 各小事業について計画どおりに進めることができ B : 小事業について、事業の進め方に改善が必要 C : 小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D : 大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

### 6.改善の方向性

○地域とつながる学校体制。特に、コミュニティースクール導入を目指した学校体制づくりにそれぞれの学校で試行する。

○ミドルリーダー研修の充実。次の管理職を目指す人材を育成する。

## H29年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名  
決算書  
169p

大事業名	人権・地域教育充実事業	款	項	目
	教育費	教育総務費	事務局費	

総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	関連指標	[総合計画(目標年度H32)]
	基本施策	人権尊重のまちづくりの推進		[総合戦略(目標年度H31)]
	施策	人権尊重意識の高揚		[その他]
総合戦略		基本目標2 「住みたくなる」子育て環境をつくる (1) 豊能ならではの教育の付加価値の創造		
個別計画		豊能町子ども子育て支援事業計画		

## 1.概要

事業内容	子どもたちが安全で安心して生活できる地域社会の創造と人権教育の充実を図る
対象	児童生徒、保護者、地域、学校（教職員）
意図・目的	地域との連携による人権教育の推進や学校教育・保育の充実

## 2.構成事務事業

事業名	事業概要	事業費（千円）		
		H28決算	H29決算	うち補正財源
1 人権・地域教育充実事業	・地域の文化拠点としての学校、所蔵づくりを推進し、地域の教育力による学校、所蔵の教育・保育の活性化 ・人権教育・保育推進のための研修を充実させ一人ひとりが輝く教育・保育の推進、充実を図る。	513	510	0
2 教育コミュニティづくり推進事業	地域住民等の参画による「学校支援地域本部事業」を発展させることにより、学校支援活動を充実させ、学校教育の充実とともに、地域の教育力の向上を目指す。	1,299	1,299	855
3 地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業	警察官OBや防犯の専門家等をスクールガード・リーダー（SG）として委託する。スクールガード・リーダー（SG）は、各小学校区を定期的に巡回し、警備のポイントや改善すべき点などの指導と評価、安全見守り隊（地域ボランティア）に対する指導等を行う。	400	478	318
4 いじめ問題等対策推進事業	いじめ防止対策推進法に則り、いじめの未然防止及びいじめ発生時の対策のための行政としての責務を遂行する。未然防止の為に学校等支援指導員を配置。学校問題調査対策委員会を発足し、重大事態等に備える。	1,589	1,717	1,717

## 3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

- 吉川中学校区において9月にふれあいのつどいを開催し、子どもたちと地域の大人、学校と地域の交流の場となった。豊能町人権教育研究会を支援することで、各園・所・学校での人権教育の推進や教職員の人権意識向上の研修・研究を推進した。
- 学校支援地域本部事業における地域人材の活用：小学校…登下校・授業・総合学習等へのサポート、中学校…行事・環境整備へのサポート。小学校の放課後の居場所づくり「放課後わくわく教室」の実施回数…東能勢小（110回）、吉川小（80回）、光風台小（110回）、東ときわ台小（115回）
- 4小学校を年間74日、朝と下校時にスクールガードリーダーが巡回して、児童の登下校を見守った。
- いじめ問題等未然防止のために、学校等支援指導員を、2中学校、4小学校に延べ8名合計310回配置した。  
いじめ事案に対しても各所属でチームで取り組む体制が広がってきた。（H29不登校生：小学校3名 中学校8名←H28 小5名 中8名）（いじめ事案発生件数と解消率：小学校161件 84% 中学校 41件 73%）

## 4.課題整理

現状の課題	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	有		
	事業内容	有	いじめを許さない人権意識の高い児童生徒の育成 地域ボランティア人材の確保	子どもの発達の過程に応じた適切な指導 地域の高齢化
中長期的な課題	費用対効果	無	学校等のニーズと地域ボランティアの方の支援体制が適合するような体制づくり。	管理職、教職員の世代交代
	進捗管理	有		
	事業内容	有		

## 5.総合評価

B	A : 各小事業について計画どおりに進めることが必要 B : 小事業について、事業の進め方に改善が必要 C : 小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D : 大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

## 6.改善の方向性

○教職員の児童生徒理解と適切な指導への支援。子どもの見方、考え方を深める研修を充実させる。 ○挨拶運動や見守り巡回での呼びかけ。チラシ配布。各単位PTAでの呼びかけ。小中の児童会・生徒会での連携した取組推進。
---

## H29年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名  
決算書  
169p

大事業名	款	項	目
	教育費	教育総務費	事務局費

総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	関連指標	[総合計画(目標年度H32)]
	基本施策	子どもの確かな力を育む教育の充実		[総合戦略(目標年度H31)]
	施策	青少年の健全育成		[その他]
総合戦略	基本目標2 「住みたくなる」子育て環境をつくる (1) 豊能ならではの教育の付加価値の創造			
個別計画	豊能町子ども子育て支援事業計画			

### 1.概要

事業内容	個別の支援が必要な児童生徒のニーズにあった教育の実践
対象	個別の支援が必要な児童生徒
意図・目的	どの子も伸びる可能性の追求と支援の必要な児童生徒の教育権の保証

### 2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		H28決算	H29決算	うち特定財源
1 児童生徒健全育成充実事業	支援学級等に在籍する児童・生徒に対して専門分野の講師を招いて巡回相談を実施し、個に応じた指導を充実させる。	995	1,081	0

### 3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

特別支援会議8回、専門職派遣による巡回相談（言語聴覚士25回×2人、作業療法士22回、理学療法士9回、発達心理士の研修及び発達相談6回）の実施により、支援の必要な児童生徒の保育教育の充実に努めた。

### 4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
現状の課題	進歩管理	有	児童生徒の特性や課題の早期の見立てと適切な手立て	多様で複合的な課題の増加
	事業内容	有		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進歩管理	有	支援者、専門職の増員	課題に対する教員の人員不足
	事業内容	有		
	費用対効果	無		

### 5.総合評価

B	A : 各小事業について計画どおりに進めることができ B : 小事業について、事業の進め方に改善が必要 C : 小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D : 大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

### 6.改善の方向性

- 専門職を交えた研修の充実による教職員のスキルアップ

## H29年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名  
教育支援課  
決算書  
169p

大事業名	款	項	目
	教育費	教育総務費	事務局費

総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	[総合計画(目標年度H32)]  安心して子どもを産み育てやすいまちだと思う割合 70%  [総合戦略(目標年度H31)]  [その他]
	基本施策	子どもの確かな力を育む教育の充実	
	施策	幼児教育の推進	
総合戦略		基本目標2 「住みたくなる」子育て環境をつくる (1) 豊能ならではの教育の付加価値の創造	
個別計画		豊能町子ども・子育て支援事業計画	

## 1.概要

事業内容	子どもを取り巻く社会状況を踏まえ、子どもの発達に即した保育・教育を行うとともに、小学校への円滑な接続が行えるよう研究・研修を深める。
対象	保育所・幼稚園・こども園の教職員
意図・目的	保育・教育の質の向上

## 2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費(千円)		
		H28決算	H29決算	うち特定財源
1 幼児教育・保育の充実事業	・教育・保育内容の充実 ・教職員研修の充実 ・幼稚園・保育所・こども園と小学校の連携 ・家庭・地域における教育力の向上	185	179	179

## 3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

- ・研究指定制度を設け、大学の協力や学力向上指導員の協力を得て、研究保育（14回）を実施した。
- ・主体的に研究活動に取り組み、豊能町保育研究会（8回）において運動カリキュラムの実践による検証を行った。
  - ・児童と児童の交流活動（37回）や教諭・保育士と小学校教員の意見交換（24回）を計画的に実施した。
  - ・事故・防犯・安全対策や感染症など危機管理マニュアルを作成し、マニュアルに基づいて定期的に指導及び訓練を実施した。（避難訓練：36回・防犯訓練：8回・交通安全指導：10回）
  - ・子育てに関する各種講座の開催や相談事業の取組を実施した。（育児講座等：6回）

## 4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
現状の課題	進歩管理	無	・運動カリキュラムの検証 ・家庭・地域に協働による教育力向上 ・保幼小中一貫教育の接続カリキュラムの研究・作成	・保護者等への啓発及び情報発信不足 ・保幼小中一貫教育の連携
	事業内容	有		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進歩管理	有	保幼小中一貫教育の接続カリキュラムの研究・作成	保幼小中一貫教育の連携
	事業内容	有		
	費用対効果			

## 5.総合評価

B	A : 各小事業について計画どおりに進めることができた B : 小事業について、事業の進め方に改善が必要 C : 小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D : 大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	--

## 6.改善の方向性

- 各所属ごとの研修体制を充実させ、主体的に研究や実践の推進を図る。
- 学力向上指導員を継続活用し、教諭・保育士の資質向上を図る。
- 所内研修の体制の構築
- 保幼小中一貫教育推進委員会にて、体制を整え、計画的に実施する。
- 職場研修の充実と外部研修の確保をする。

## H29年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名  
決算書  
169p

款		項	目
大事業名	子育て支援環境の充実事業	教育費	教育総務費
総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	関連指標
基本施策	安心して働ける子育て支援の充実	[総合計画(目標年度H32)]  安心して子どもを産み育てやすいまちだと思う割合 70%	
施策	子育て支援環境の充実	[総合戦略(目標年度H31)]  安心して子どもを産み育てやすいまちだと思う割合 70%	
総合戦略	基本目標2 「住みたくなる」子育て環境をつくる (2) 豊能での子育てをかなえるためのサポートの充実	[その他]	
個別計画	豊能町子ども・子育て支援事業計画		

### 1.概要

事業内容	子どもと子育て家庭を取り巻く現状を把握し、「子どもを安心して育てる」ためのサポート、「子どもを産み育てる魅力ある施策」を推進する。
対象	子育て世帯及び全住民
意図・目的	子育て不安の解消、育児負担の軽減・親子の基本的信頼関係の構築・キャリア教育の充実（産み育てる次世代の若者育成）

### 2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		H28決算	H29決算	うち特定財源
1 児童虐待防止対策事業	・児童虐待のない社会をめざし児童虐待防止対策の取組を強化する。 ・児童の安全確認のための体制整備を構築するとともに養育困難な家庭に対して養育支援訪問等を行う。	580	603	603
2 子育て支援環境の充実事業	地域の子育て支援環境の充実を図るため、子育てに関する各種連携事業を実施し「育児の日」の取組を進め安心して子育てができる環境作りのために次世代子育てネットワークづくりの取組を進める。	720	741	741
3 子育て支援地域交流充実事業	幼稚園・保育所・こども園・子育て支援センターが地域のすべての子育て家庭を対象に育児相談をはじめ、交流事業等を積極的に実施し、幼児教育・保育のセンター的役割を果たすことで、家庭における子育て環境が整えられるよう支援する。	781	642	457
4 障がいのある児童・生徒へのサポート相談事業	発達障がいのある児童生徒に関する専門的知識・経験を有する巡回相談員を保育所、幼稚園、小中学校等に定期的に派遣し、発達障がいを含む障がいのある児童生徒に対する指導内容や支援方法について助言を受けるなど特別支援教育の推進を図る。	1,448	1,524	1,524
5 放課後児童クラブ地域連携充実事業	放課後に子どもたちの適切なあそびや生活の場を確保し、小学校の余裕教室等を活用して、地域の方々の参画を得ながら、学習やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等の取組みを実施する。	1,732	1,538	1,538

### 3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

- 専門職の臨床心理士を配置や養育支援訪問を実施することで、要支援家庭に対応することができた。（心の相談：21件・養育支援訪問：2件）
- 育児の日を計画的に実施することができ、多世代にわたる参加となつた。（13回）
- 就学前施設や子育て支援センターが交流事業などを積極的に実施した。（就学前施設：48回・子育て支援センター：27回）
- 発達障害のある児童生徒に対して、専門知識を有する巡回相談を学校園所に派遣し、指導及び支援方法の具体化し、発達に寄り添ったサポートを実施した。（77回）
- 小学校の余裕教室を活用し、学習や様々な体験をすることができた。（15回）

### 4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
現状の課題	進歩管理	無	親子で集まる場づくり 放課後子ども教室の対象学年の格差	出生数の減少 学校によって参加対象や学校支援ボランティアの違い 学校支援センターの高齢化と減少
	事業内容	有		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進歩管理	無	つどいの場の設置 人員確保	週少人数の減少 学校支援センターの高齢化と減少
	事業内容	有		
	費用対効果	無		

### 5.総合評価

B	A : 各小事業について計画どおりに進めることができ B : 小事業について、事業の進め方に改善が必要 C : 小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D : 大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

### 6.改善の方向性

- 定期的に放課後子ども教室の連絡会を開催するなど放課後児童の居場所の環境を整える。
- 学校の実態を把握し、平準化を図る。

## H29年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名  
決算書  
生涯学習課  
185p

大事業名	款項目		
	教育費	社会教育費	社会教育総務費

総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	関連指標	[総合計画(目標年度H32)]	
	基本施策	地域で学ぶ生涯学習環境の充実		[総合戦略(目標年度H31)]	
	施策	生涯学習の推進		[その他]	
総合戦略					
個別計画		豊能町教育大綱（H30.2改定）			

## 1.概要

事業内容	町民の主体的な生涯学習活動を支援するとともに、多彩な生涯学習活動の機会を提供し、学習活動を推進する。
対象	住民、各種社会教育関係団体。
意図・目的	地域における社会教育・生涯学習の推進を図る。

## 2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		H28決算	H29決算	うち特定財源
1 生涯学習推進事業	社会教育委員会に問題点を語るとともに地域における社会教育・生涯学習の普及に係る事業の企画・実施を行う。 生涯学習の推進	1,335	951	0

## 3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

○社会教育関係団体等（登録団体数62）及び公民館使用団体（登録団体数295）の登録を行い、団体への支援を行うとともに、団体の活動内容の紹介冊子を作成し、これから活動を始めたいと思っている方への情報提供を行った。
○高齢者を対象とした「ウグイス大学」を開催（全8回、延べ331名参加）。行政の手を離れた運営委員会による企画運営で、自主的な取り組みによる事業が実施できた。
○実行委員会による文化展（2日間）の開催（出展者数411名、作品数640作品、主要部屋来館者数1744名）

## 4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
現状の課題	進歩管理	無	社会教育関係の団体の活動は活発であるが、団体間の相互の連携が十分でない。	生涯学習活動の目的や意義が団体に浸透していない。
	事業内容	有		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進歩管理	無	学校教育との連携の推進	学校教育と社会教育（生涯学習）との課題の共通認識が十分でない。
	事業内容	有		
	費用対効果	無		

## 5.総合評価

B	A : 各小事業について計画どおりに進めることができ B : 小事業について、事業の進め方に改善が必要 C : 小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D : 大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

## 6.改善の方向性

ウグイス大学、文化展は運営委員や実行委員により自主的に進めているが、委員の高齢化に伴い、次期の担い手不足が生じているため、講座内容のマンネリ化の傾向がある。よって、事業の継続・廃止も含めた検討が必要。  社会教育団体間の相互交流の推進を図る。  学校教育との課題の共通認識を図り、連携を深めていく。
---

## H29年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名  
決算書  
生涯学習課  
185p

大事業名	青少年健全育成事業	款	項	目
総合計画	政策 地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり 基本施策 地域で学ぶ生涯学習環境の充実 施策 生涯学習の推進	教育費	社会教育費	青少年対策費
総合戦略	基本目標2 「住みたくなる」子育て環境をつくる (1) 豊能ならではの教育の付加価値の創造			
個別計画	豊能町教育大綱（H30年2月改定）			[その他]

### 1.概要

事業内容	生涯学習課による青少年の健全育成を目指した事業等の取り組み。 青少年指導員を中心とした青少年健全育成を目指した事業等の取り組み。
対象	町在住の青少年
意図・目的	青少年の健全育成。

### 2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		H28決算	H29決算	うち特定財源
1 青少年健全育成事業	・青少年の健全育成を目指した事業等の取組 ・青少年指導員を中心とした青少年健全育成を目指した事業等の取組	2,119	2,089	46
2 音楽ふれあい事業	オオサカンによる小中学生を対象に演奏会を実施する。	1,000	1,000	1,000

### 3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

- 夏休みに小学生対象の講座を開催した(5講座開催、参加者98名)。豊能町内の公民館で活動されている団体に講師を依頼し、こどもたちと一緒に夏休みならではの時間を過ごす。集う・伝える・知る・作るといった時間と空間を共有することにより、年齢を超えたつながりを育んだ。
- 平成30年成人式を1月8日に開催（対象者数167名、参加者146名）。太鼓組「爽風」の子ども達による太鼓の生演奏から始まり、穏やかに式が執り行われた。式の中で、「新成人へのメッセージ」として卒業アルバムや当時の担任の先生のインタビュー等を編集したスライドショーを行っており、好評を得ている。
- 小学生が自然とのふれあいを通して、環境や食について考える機会の提供と交流を深めるための事業として、青少年指導員会主催で「森と遊ぼう！」を開催した（参加者86名）。
- 青少年指導員とともに、町内コンビニエンスストアや書店での青少年有寄図書の陳列方法、販売の調査指導を行った。
- 町連合子ども会主催で年間2事業を行い、単位子ども会の交流と子どもの健全育成を図った。
- 夏休みキャンプ（参加者57名）、フロアカーリング大会＆ドッヂビー練習会（参加者89名）
- 土曜日の教育支援として、児童生徒と社会教育関係団体・公民館利用団体との交流を図り、各団体は子どもの活力や感性に驚き、日頃の活動では得られない満足感を感じることにより、次への活動に生かすことへつながることとなった。また、子どもたちは、経験を積む大人たちの指導に触れ「学び」を考えるきっかけとなつた（参加者40名）。

### 4.課題整理

現状の課題	課題の有無		課題の内容	要因の特定
	進捗管理	無		
	事業内容	有		
中長期的な課題	費用対効果	無	青少年対象事業参加者の二極化	児童生徒数の減少と児童生徒の活動の多様化
	進捗管理	無	子ども会の存続	少子化による児童数の減少
	事業内容	有		
	費用対効果	無		

### 5.総合評価

B

- A：各小事業について計画どおりに進めることができた
- B：小事業について、事業の進め方に改善が必要
- C：小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
- D：大事業全体の抜本的な見直しが必要

### 6.改善の方向性

今後見込まれる青少年の人口数に対応した事業の実施。

今後の子ども会のあり方を検討する。

積極的な体験活動の機会を提供する。

## H29年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名  
決算書  
生涯学習課  
187p

大事業名	西公民館管理事業	款	項	目
		教育費	社会教育費	公民館費

総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	関連指標	[総合計画(目標年度H32)]	
	基本施策	地域で学ぶ生涯学習環境の充実		[総合戦略(目標年度H31)]	
	施策	生涯学習の推進		[その他]	
総合戦略					
個別計画					

## 1.概要

事業内容	生涯学習施設（西公民館）の適正及び効率的・効果的な維持管理
対象	利用者
意図・目的	住民活動の場の提供

## 2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）			うち特定財源
		H28決算	H29決算		
1 西公民館管理事業	生涯学習施設(西公民館)の適正及び効率的・効果的な維持管理 住民活動の場の提供	8,190	8,470	3,680	
2 西公民館地階玄関前路面アスファルト改修事業	西公民館地階玄関前路面アスファルト改修	0	3,537	0	
3 西公民館設備改修事業	公民館の保守管理（西公民館空調機器設備修繕）	0	3,072	0	
4 西公民館非常用放送設備設置事業	非常警報との連動非常放送設備完備	398	3,435	0	

## 3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

○生涯学習活動の拠点として、円滑な施設・設備の提供を行うことができた。
○西公民館地階玄関前路面のアスファルト改修工事を実施し、利用者の安全性を確保した。
○西公民館内吸込みグリル他取替工事、地階系統空調機整備工事及び軽運動室空調機器更新工事を実施し、利用者サービスの向上を達成した。
○火災等の緊急時に応する非常用放送設備設置工事を実施し、緊急時の対応に備えることができた。

## 4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
現状の課題	進捗管理	有	公民館内設備の更新	施設の老朽化による
	事業内容	有		
	費用対効果	有		
中長期的な課題	進捗管理	有	公民館施設自体の更新	施設の老朽化による
	事業内容	有		
	費用対効果	有		

## 5.総合評価

B	A : 各小事業について計画どおりに進めることができた B : 小事業について、事業の進め方に改善が必要 C : 小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D : 大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	--

## 6.改善の方向性

施設の老朽化が進み設備等の改修が必要となるが、優先順位を設け段階的に更新を行う。

## H29年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名  
決算書  
生涯学習課  
187p

大事業名	中央公民館管理事業	款	項	目
		教育費	社会教育費	公民館費

総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	関連指標	[総合計画(目標年度H32)]
	基本施策	地域で学ぶ生涯学習環境の充実		[総合戦略(目標年度H31)]
	施策	生涯学習の推進		[その他]
総合戦略				
個別計画				

### 1.概要

事業内容	生涯学習施設（中央公民館）の適正及び効率的・効果的な維持管理
対象	利用者
意図・目的	住民活動の場の提供

### 2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		H28決算	H29決算	うち特定財庫
1 中央公民館管理事業	・生涯学習施設（中央公民館）の適正及び効率的・効果的な維持管理 住民活動の場の提供	4,843	5,475	644
2 中央公民館キューピックル更新事業	・受電設備の更新推奨時期を大幅に超過しており、このままでは火災、事故（感電、火災）などの起こる可能性があるため早期に更新を実施する。	756	14,980	0
3 中央公民館耐震補強工事事業	・生涯学習施設（中央公民館）の適正な維持管理 ・公民館利用に対する震災時対応の安定化。	0	2,235	0

### 3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

- 生涯学習活動の拠点として、円滑な施設・設備の提供を行うことができた。
- 施設老朽化に伴うキューピックルの更新を行った。

### 4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進捗管理 有	公民館内設備の更新	施設の老朽化による
	事業内容 有		
	費用対効果 有		
中長期的な課題	進捗管理 有	公民館施設自体の更新 職員体制の充実	施設の老朽化 非常勤対応のため事案に対する判断が困難 効率的な公民館の運営が必要
	事業内容 有	施設の管理体制の変更	
	費用対効果 有		

### 5.総合評価

D	A : 各小事業について計画どおりに進めることができ B : 小事業について、事業の進め方に改善が必要 C : 小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D : 大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

### 6.改善の方向性

- ・優先順位を設け、段階的に設備の更新を行う。
- ・職員体制の見直しを図る。
- ・公民館の管理体制の見直しを図る。

## H29年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名  
決算書  
生涯学習課  
189p

大事業名	図書館運営事業	款	項	目
		教育費	社会教育費	図書館運営費

総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	関連指標	[総合計画(目標年度H32)]
	基本施策	地域で学ぶ生涯学習環境の充実		[総合戦略(目標年度H31)]
	施策	生涯学習の推進		[その他]
総合戦略				
個別計画				

## 1.概要

事業内容	町立図書館の適正な運営
対象	利用者（町民、本町在勤・在学者、広域・相互利用者）
意図・目的	利用者のニーズにあった資料の充実やサービスの提供に努め、利用者の増加を図る。また、学校や幼稚園、保育所をはじめとする他部局との連携も活用した生涯学習支援、子育て支援を推進する。

## 2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		H28決算	H29決算	うち特定財源
1 図書館運営事業	図書館サービスの向上をはかり質を高めるとともに全域サービスの充実をはかる。又、子育て支援のさらなる推進及び高齢化利用者対応のため講座等を時宜に合わせて開催する。	8,504	9,041	19
2 子育て支援事業	子育てや、読書・学習支援に役立つ、各年齢に合わせた図書、雑誌、視聴覚資料等を購入し必要な情報をタイムリーに提供することで、子育て支援間連の事業の推進を図る。	698	700	700
3 消費者行政推進事業	消費生活行政に関する図書、雑誌、視聴覚資料を購入し必要な情報を提供することにより、消費生活行政間連知識の普及、教育の推進を図る。	50	50	50
4 公用車買替事業	図書館所有公用車の買い替えを行った。	0	1,022	0

## 3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

## ○主な実績数値

開館日数：図書館278日・中央公民館図書室288日 貸出人数：63,680人 貸出冊数：209,412冊

有効登録者数：7,865人 一人あたり貸出冊数：10.53冊

講座実施回数 122回・延べ参加人数 2,107人 展示28回 本のテーマ展示94種類

## ○主な実施事業

町制40周年・図書館開館30周年記念事業「思ひ出アーカイブ」完成

北境地区7市3町広域及び川西市との相互利用開始

補助金を活用した子育て支援事業、消費者行政推進事業の実施

## 4.課題整理

		課題の有無		課題の内容	要因の特定
現状の課題	進歩管理	無		利用の広域化等により全体の利用は増えているが、住民の利用者数は減少している。	少子高齢化による人口減少 利用者のニーズの多種多様化 司書等従事職員確保の困難さ 各種経費の削減
	事業内容	有		ニーズに対応する効果的な事業の運営を行うための職員数の確保が難しい。	
	費用対効果	有		広域化による利用状況にもよるが利用者の減少が考えられる。限られた人員、経費で、より計画的に、魅力ある事業の構築に努めなければならない。	少子高齢化による人口減少 利用者のニーズの多種多様化 従事職員確保の困難さ
中長期的な課題	進歩管理	無			
	事業内容	有			
	費用対効果	有			

## 5.総合評価

C

- A : 各小事業について計画どおりに進めることが必要
- B : 小事業について、事業の進め方に改善が必要
- C : 小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要
- D : 大事業全体の抜本的な見直しが必要

## 6.改善の方向性

利用者の多種多様化するニーズを的確に調査・把握し、魅力ある事業の実施に努め、利用者の増加を図る。また、限りある経費の中でより効率的に図書館を運営するため、事業の実施や蔵書の適正な管理、資料の更新等について中長期的な計画を策定し、計画に則って事業を推進する。

## H29年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名  
決算書  
生涯学習課  
191p

大事業名	図書館管理事業	款	項	目
		教育費	社会教育費	図書館運営費

総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	関連指標	[総合計画(目標年度H32)]	
	基本施策	地域で学ぶ生涯学習環境の充実		[総合戦略(目標年度H31)]	
	施策	生涯学習の推進		[その他]	
総合戦略					
個別計画					

### 1.概要

事業内容	町立図書館の適正な維持管理
対象	利用者（町民、本町在勤・在学者、広域利用者）
意図・目的	利用者の安全性、利便性を考慮し、図書館施設を適正に維持管理することで、利用者が快適に利用できる環境をつくり、図書館の利用をとおした生涯学習の推進を図る。

### 2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		H28決算	H29決算	うち特定財源
1 図書館管理事業	図書館利用者の快適性、安全性、利便性等を考えた適正な維持・管理を行った。	4,733	5,163	0
2 図書館トイレ改修事業	図書館内トイレの改修（バリアフリー化）を行った。	0	3,618	0

### 3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

施設の修繕については、利用者の安全性、利便性を考慮し、危険度、緊急度が高いものを優先的に実施した。
○施設維持管理に要した主な経費
光熱水料費（電気、ガス） 2,950,144円
修繕料（窓口用蔵書検索機修繕等） 237,546円
業務委託料（施設維持管理：清掃、空調・自動扉等機器保守、除草・剪定、機械警備） 1,787,400円
○図書館トイレバリアフリー化
男女トイレ洋式化・緊急呼び出しブザー設置・手洗い台水栓自動化、男子トイレ小便器自動水栓設置

### 4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進歩管理 無	修繕を要する箇所が多発し、維持管理に要する経費も増加している。	開館から30年以上経過したことによる施設の老朽化
	事業内容 有		
	費用対効果 有		
中長期的な課題	進歩管理 無	老朽化により修繕すべき箇所の発生が後を絶たない。応急処置ではなく大幅な機器の更新や施設建替も含めた抜本的な対策が必要である。	開館から30年以上経過したことによる施設の老朽化
	事業内容 有		
	費用対効果 有		

### 5.総合評価

D	A : 各小事業について計画どおりに進めることが必要 B : 小事業について、事業の進め方に改善が必要 C : 小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D : 大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

### 6.改善の方向性

施設の老朽化が甚だしく、通常の業務もままならない状況に陥る危険性が高い。応急処置的な修繕や改修では根本的な解決にならないため、早急に施設の建て替えも視野に入れた抜本的な改修を検討する必要がある。
---

## H29年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名 生涯学習課  
決算書 191p

大事業名	ユーベルホール管理事業	款	項	目
		教育費	社会教育費	ホール運営費

総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	関連指標	[総合計画(目標年度H32)]
	基本施策	地域で学ぶ生涯学習環境の充実		[総合戦略(目標年度H31)]
	施策	文化・芸術の振興		町有施設の長期的なマネジメントにかかる計画の策定数 7計画
	総合戦略	基本目標4 遊けることができない未来にそなえる (3) 社会資本・都市機能等のマネジメント		[その他]
個別計画				

## 1.概要

事業内容	ユーベルホールの施設の保守管理運営と施設整備
対象	ユーベルホール利用者
意図・目的	施設内外の多様な設備の保守管理や整備を行うことにより、貸館や主催事業などをいつも良好な環境下で実施する。

## 2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費(千円)		
		H28決算	H29決算	うち特定財源
1 ユーベルホール管理事業	芸術・文化発表の場を提供するために、多種多様の施設設備の保守管理を行い、円滑な運営を行うもの。	35,376	37,499	35,909
2 ユーベルホール屋外階段手すり設置事業	屋外階段にて来場者が転倒した事象が発生したことに伴い、手すりの増設を行うもの。	0	1,299	0
3 調光操作車用モニター更新事業	機器の老朽化により、操作車の情報を明確に表示することが困難であり、公演などに支障をきたすためモニター交換を行うもの。	0	725	0
4 ユーベルホール修繕事業	施設の老朽化に伴い生じている不具合箇所の修繕を行うもの。	426	518	0
5 印刷機（輪転機）買替事業	経年劣化により、輪転機に不具合が生じているため印刷機を更新するもの。	0	356	0
6 冷温水発生装置修繕事業	経年劣化により、ユーベルホール空調設備（東系統及び熱源）を更新するもの。	0	9,745	0
7 ユーベルホール総合防災盤改修事業	事務所内の総合防災盤に不具合が生じるため、不具合箇所の回路基板の交換を行うとともに、防災盤全体を更新するもの。	0	435	0
8 町制40周年記念ユーベルロビーコンサート登録者によるホールコンサート開催事業	町制40周年を記念し、ユーベルロビーコンサートの登録者によりホールでのコンサートを開催する事業。 住民に良質な音楽を提供し、一緒に町制40周年を祝うことができる。また、ロビーコンサート登録者に良質な環境での演奏を行ってもらえる。	0	261	0
9 ユーベルホール備品買替事業（業務用大型プロジェクトエンジニア）	所有のプロジェクトエンジニアが、経年劣化により鮮やかな画像を映写できないため買い替えを行うもの。	0	940	0

## 3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

施設の老朽化により生じている不具合箇所の修繕について、優先順位をつけ実施することにより、貸館や主催事業などが滞りなく実施できた。

## 4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
現状の課題	進歩管理	無	施設の老朽化による修繕箇所の増加と維持管理費用の増加	施設の老朽化
	事業内容	有		
	費用対効果	有		
中長期的な課題	進歩管理	無	今後のホールの在り方や方向性を検討し、大規模改修の必要性も考える	施設の老朽化
	事業内容	有		
	費用対効果	有		

## 5.総合評価

C	A : 各小事業について計画どおりに進めることが必要 B : 小事業について、事業の進め方に改善が必要 C : 小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D : 大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

## 6.改善の方向性

施設の管理業務（舞台・音響・照明）の複数年委託（債務負担）を検討する。 長期的な修繕計画を立てる。
--

## H29年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名  
決算書  
生涯学習課  
193p

大事業名	款項		目
	教育費	社会教育費	
総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	[総合計画(目標年度H32)]  [総合戦略(目標年度H31)]  [その他]
	基本施策	地域で学ぶ生涯学習環境の充実	
	施策	文化・芸術の振興	
	総合戦略	基本目標3 地域の資源をしごととお金にかえる (1) 新たな観光パッケージやビジネスの創出	
個別計画	豊能町教育大綱（H30年2月改定）		

### 1.概要

事業内容	豊能町の文化の交流・振興の拠点施設を目指して、また、町内の活動団体の発表の場として、ホールやロビーを利用した住民交流の場として運営する。
対象	町民及び文化芸術鑑賞されるもの
意図・目的	地域住民をはじめとする人々がホールに親近感を持ち、ホールへの事業参加や施設の活用を促し文化振興を推進する。

### 2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		H28決算	H29決算	うち特定財源
1 文化振興事業	主催事業、連携協力事業、ロビーコンサートを実施し、文化芸術の振興、豊かな心を育てるもの。	6,750	5,201	5,201

### 3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

- ユーベルロビー登録者制度により町民を主体とした音楽による年間12回のロビーコンサート（延べ519名来場）を開催。また、ホールにて登録者一同が会し「とよのミュージックフェア（200名来場）」も開催。音楽を通じた交流と発表機会の提供、文化ホールを拠点とした文化芸術の振興へ寄与した。
- 町内文化推進団体との連携により、「とよの・家族と楽しむ落語の世界（151名来場）」や「ユーベル寄席（311名来場）」を実施した。
- NHK大阪放送局との共催で、「NHK公開講演会・京都国立博物館開館120周年記念 特別展覧会「国宝」（349名来場）」を実施した。
- 協定団体であるフィルハーモニック・ワインズ大阪（通称：オオサカン）により、年6回のホールコンサート（延べ1,397名来場）や年3回のロビーコンサート（延べ156名来場）を開催。

### 4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進歩管理 無	文化芸術事業への住民の自主的活動団体の育成	少子化による、サークル活動や音楽教室などの減少
	事業内容 有		
	費用対効果 無		
中長期的な課題	進歩管理 無	住民参加型の事業実施	リーダーとなる人材不足とコーディネーターの育成
	事業内容 有		
	費用対効果 無		

### 5.総合評価

B	A : 各小事業について計画どおりに進めることができ B : 小事業について、事業の進め方に改善が必要 C : 小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D : 大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

### 6.改善の方向性

住民活動や協定団体を支援することを中心に行う。  
NHK大阪放送局との共催事業や各種補助事業を積極的に利用する。

## H29年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名  
決算書  
生涯学習課  
193p

大事業名	文化財保護事業	款 項	目
		教育費	社会教育費 文化財保護費

総 合 計 画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	関連指標	[総合計画(目標年度H32)]
	基本施策	地域で学ぶ生涯学習環境の充実		地域の歴史や文化が住民に継承されていると思う割合 30%
	施策	文化・芸術の振興		[総合戦略(目標年度H31)]
総合戦略		基本目標3 地域の資源をしごととお金にかえる (1) 新たな観光/パッケージやビジネスの創出		[その他]
個別計画		豊能町教育大綱 (H30年2月改定)		

## 1.概要

事業内容	埋蔵文化財調査、保全、寺社調査、石造物調査
対象	町内文化財
意図・目的	文化財の保護啓発、埋蔵・民俗・石造文化財の調査、保全により文化財を後世に伝える。

## 2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費(千円)		
		H28決算	H29決算	うち特定財源
1 文化財保護事業	埋蔵文化財調査・保全・寺社調査、石造物調査等の文化財に関する事業を行う。 豊能町の文化財を後世に伝える。	54	48	0

## 3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

## 文化財保護委員会の開催

## 4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
現状の課題	進歩管理	有	町内文化財の情報、文化財発掘調査技術の継承	適正な人員配置計画がない。
	事業内容	無		
	費用対効果	有		
中長期的な課題	進歩管理	有	町内に所在する未調査文化財（古文書、有形・埋蔵文化財）の把握と適切な保護措置、文化財担当職員の育成	将来を見据えた人員配置計画がない。
	事業内容	有		
	費用対効果	有		

## 5.総合評価

**B**

- A : 各小事業について計画どおりに進めることができない。
- B : 小事業について、事業の進め方に改善が必要。
- C : 小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要。
- D : 大事業全体の抜本的な見直しが必要。

## 6.改善の方向性

- ・文化財を活用し町民の生活を豊かにすることで、文化財への意識を高揚させていく。
- ・将来を見据えた人員配置計画を策定する。
- ・文化財担当職員を育成する。

## H29年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名  
決算書  
193p

大事業名	郷土資料館管理事業	款	項	生涯学習課 目
		教育費	社会教育費	文化財保護費

総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	関連指標	[総合計画(目標年度H32)]	
	基本施策	地域で学ぶ生涯学習環境の充実		[総合戦略(目標年度H31)]	
	施策	文化・芸術の振興		[その他]	
総合戦略		基本目標3 地域の資源をしごととお金にかえる (1) 新たな観光パッケージやビジネスの創出			
個別計画		豊能町教育大綱（H30年2月改定）			

### 1.概要

事業内容	郷土資料館の適正管理
対象	住民、近隣住民、豊能町に興味のある方
意図・目的	豊能町の文化財の啓発施設として適切な運用と適正管理

### 2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		H28決算	H29決算	うち特定財源
1 郷土資料館管理事業	郷土資料館の適正な維持管理事業を行う。 郷土資料館の適切な運営を行える。	154	226	26

### 3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

- 来館者総数は1年間を通して460名であった。
- 豊能町内小学校の社会科・総合的な学習の時間の地域学習に貢献した。
- 豊能町の昔の生活の伝播と文化財の保護を行った。

### 4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
現状の課題	進捗管理	無	施設の修繕などが必要	施設が老朽化している
	事業内容	有		
	費用対効果	有		
中長期的な課題	進捗管理	無	施設の移転等が必要	防火・防犯等の面で貴重な文化財を適正に保管する施設機能を有していない。
	事業内容	有		
	費用対効果	有		

### 5.総合評価

D

- A : 各小事業について計画どおりに進めることができ  
B : 小事業について、事業の進め方に改善が必要  
C : 小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要  
D : 大事業全体の抜本的な見直しが必要

### 6.改善の方向性

- ・町内の文化財や歴史などにフォーカスを当て、活用をする。
- ・ホームページの更新など情報発信を行う。

## H29年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名  
決算書  
生涯学習課  
195p

大事業名	体育施設管理事業	款	項	目
		教育費	保健体育費	スポーツ振興費

総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	関連指標	[総合計画(目標年度H32)]
	基本施策	地域で学ぶ生涯学習環境の充実		[総合戦略(目標年度H31)]
	施策	生涯スポーツ・レクリエーション活動の推進		広域で相互利用が実現している公共施設数 2施設
	総合戦略	基本目標4 避けることができない未来にそなえる (3) 社会資本・都市機能等のマネジメント		[その他]
個別計画				

## 1.概要

事業内容	各体育施設の適正な管理・維持(スポーツ広場、ふれあい広場)
対象	住民及び近隣住民
意図・目的	町民一人一人、また各種団体の活動の場として利用しやすい施設を維持し、住民の体力増進に寄与する。

## 2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費(千円)		
		H28決算	H29決算	うち特定財源
1 体育施設管理事業	下記体育施設の維持、管理を目的とする。 ・スポーツ広場 ・ふれあい広場	3,970	4,886	1,811
2 スポーツ広場駐車場グレーチング交換事業	スポーツ広場駐車場内にあるグレーチングの内、パッカー車が停車する場所について、重い車が載っても耐えられるグレーチングに交換する事業。 駐車場内の安全を確保することができる。	0	49	0

## 3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

- ふれあい広場、スポーツ広場の施設利用や管理が適切に行われた。
- 町民だけではなく、近隣市町の地域住民の利用もあり、住民の健康増進に寄与した。

## 4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進歩管理 無	施設の適正な維持管理	施設の管理体制
	事業内容 有		
	費用対効果 有		
中長期的な課題	進歩管理 無	施設や備品の老朽化・経年劣化の対策や施設の維持管理	施設の老朽化や備品の経年劣化による
	事業内容 有		
	費用対効果 有		

## 5.総合評価

B	A : 各小事業について計画どおりに進めることができ B : 小事業について、事業の進め方に改善が必要 C : 小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D : 大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

## 6.改善の方向性

- ・適正な施設の維持管理計画の策定
- ・施設維持管理の体制の見直し
- ・老朽した施設や備品の定期的な施設整備と買替の実施

## H29年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名  
決算書  
195p

大事業名	シートス管理事業	款項	生涯学習費	目
		教育費	保健体育費	スポーツ振興費

総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	関連指標	[総合計画(目標年度H32)]
	基本施策	地域で学ぶ生涯学習環境の充実		[総合戦略(目標年度H31)]
	施策	生涯スポーツ・レクリエーション活動の推進		広域で相互利用が実現している公共施設数 2施設
総合戦略	基本目標4 避けることができない未来にそなえる (3) 社会資本・都市機能等のマネジメント			[その他]
個別計画				

### 1.概要

事業内容	シートスの指定管理制度による適正管理業務
対象	住民及び近隣住民
意図・目的	民間事業者による指定管理者の能力を活用し、地域住民等に提供するサービスの効果効率を向上させ、地域住民の一層の健康管理を図る。

### 2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業費（千円）		
		H28決算	H29決算	うち特正財源
1 シートス管理事業	平成19年度より、1期5年間で指定管理を導入 29年度から33年度まで、3期目 指定管理料の委託により、民間活力導入により、効率的な運営を図る。 効率的な運営を図ることができる。	48,301	47,376	554
2 シートス非常用発電設備整備事業	災害等による停電時に使用する非常用発電設備について、整備を行う事業。 非常に電力の供給を行うことが可能となり、住民の安全に資することができる。	0	499	0

### 3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

- ・民間活力によりサービスの効果効率を図り、一層の健康増進が図れた。

### 4.課題整理

	課題の有無		課題の内容	要因の特定
現状の課題	進歩管理	無	施設の老朽化	経年劣化
	事業内容	有		
	費用対効果	無		
中長期的な課題	進歩管理	無	将来的に見込まれる利用者数の減少	町民の人口減少及び高齢化
	事業内容	有		
	費用対効果	無		

### 5.総合評価

B

- A : 各小事業について計画どおりに進めることができ  
B : 小事業について、事業の進め方に改善が必要  
C : 小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要  
D : 大事業全体の抜本的な見直しが必要

### 6.改善の方向性

- ・施設の老朽化に対して計画的な予算を組み、施設の修繕をする
- ・多種多様な住民ニーズに対する早急な対応、新規の利用者の獲得を図る

## H29年度事業評価（主要施策成果報告）シート

所属名  
決算書  
生涯学習課  
197p

大事業名	生涯スポーツ推進事業	款	項	目
		教育費	保健体育費	スポーツ振興費

総合計画	政策	地域で育て、地域で育つ、人を大切にするまちづくり	関連指標	[総合計画(目標年度H32)]	
	基本施策	地域で学ぶ生涯学習環境の充実		生涯スポーツ事業の参加者数 700人	
	施策	生涯スポーツ・レクリエーション活動の推進		[総合戦略(目標年度H31)]	
総合戦略	基本目標4 避けることができない未来にそなえる (2) コミュニティ力の維持・強化の支援			[その他]	
個別計画	豊能町教育大綱（H30年2月改定）				

## 1.概要

事業内容	学校体育施設の開放、スポーツでんご盛りの開催・各種スポーツ教室の開催・スポーツ施設の運営等
対象	住民及び近隣住民
意図・目的	誰もがいつでも、どこでも気軽にスポーツに親しめ、自分にあった生涯スポーツを見つけることができるような事業の展開を行うとともに、自主的に活動できるよう支援・育成し、町民のスポーツ振興を図る。

## 2.構成事務事業

小事業名	事業概要	事業額（千円）		
		H28決算	H29決算	うち特定財源
1 生涯スポーツ推進事業	様々なスポーツ・レクリエーション活動の場と機会を提供し、地域における生涯スポーツの振興を図る。 生涯スポーツの振興を図ることができる。	2,397	2,463	199

## 3.主な成果（実績や事業の状況、意図・目的の達成度）

スポーツ推進委員会主催事業、4事業 トレッキング教室「生石ヶ峰を歩く（36名）」、「赤目四十八滝を歩く（38名）」サイクリング教室（雨天中止）、スポーツでんご盛り（78名）、フロアカーリング大会（12チーム 46名）」を開催した。様々な年齢層の方々が参加し、スポーツの機会提供と参加者交流を図ることができた。

市民ゴルフ大会を年2回開催。運営も実行委員会で自主的に行われており、住民主体の大会として、幅広い年齢層の住民交流の場として定着した。

## 4.課題整理

	課題の有無	課題の内容	要因の特定
現状の課題	進歩管理 無	高齢者のスポーツ人口の増加に伴うニーズへの対応	多種多様なスポーツの増加
	事業内容 有		
	費用対効果 有		
中長期的な課題	進歩管理 無	今後見込まれる人口数に対応したスポーツの実施	人口減少による
	事業内容 有		
	費用対効果 無		

## 5.総合評価

B	A : 各小事業について計画どおりに進めることが必要 B : 小事業について、事業の進め方に改善が必要 C : 小事業について、統合や、規模、内容、実施主体の見直しが必要 D : 大事業全体の抜本的な見直しが必要
---	---

## 6.改善の方向性

- ・さまざまな世代の方が気軽に参加できるスポーツ事業の展開を図るとともに、個々のスポーツにおける適切な受け入れ先の紹介を行う。
- 少人数でも、また、高齢者でも取り組むことができるスポーツの普及を図る。
- ・マラソン大会に替わるスポーツイベントを実施する。



